

## 第22回関東機能的脳外科カンファレンス

日時：2006年4月1日(土)13:00～18:05  
会場：研究社英語センタービル  
ブリティッシュ・カウンシル地下2階  
大会議室  
東京都新宿区神楽坂2-1  
(ダイヤルイン：03-3269-4375)

共催 関東機能的脳外科カンファレンス  
杏林製薬株式会社

## ご案内

第22回関東機能的脳外科カンファレンスのご案内を致します。今回は、日本では長い間封印されてしまった、しかし今では来るべき治療とも言い張る、精神疾患に対する機能外科的治療を見据え、浜松医科大学精神神経医学講座 森則夫教授と、総合人間科学講座心理学教室 中原大一郎教授にご講演を依頼しました。皆様方の活発なディスカッションを期待しております。よろしくお申し込み申し上げます。

担当幹事 浜松医科大学 脳神経外科 杉山 憲嗣

## 第22回関東機能的脳外科カンファレンス プログラム

Session I : 13:00-14:00

座長 深谷 親

- 1) ラットパーキンソン氏病モデルにおける低電流刺激での運動改善効果  
浜松医科大学 脳神経外科  
方 欣、杉山 憲嗣、稲永 親憲、赤嶺 壮一、難波 宏樹
- 2) 両側視床下核刺激後に出現した精神症状が電極抜去によって消失したパーキンソン病の一症例  
都立神経病院 脳神経内科(1)、脳神経外科(2)  
横地 房子(1)、沖山 亮一(1)、志知 隆雄(1)、  
高橋 宏(2)、谷口 真(2)、寺尾 亨(2)、川崎 隆(2)
- 3) パーキンソン病に対する視床下核刺激術が体重に及ぼす影響  
日本大学 脳神経外科・応用システム神経科学  
角 光一郎、大高 稔晴、大淵 敏樹、加納 利和、永岡 右章、小林 一太、  
大島 秀規、深谷 親、山本 隆充、片山 容一
- 4) 3T MRI による視床下核描出の経験  
美原記念病院 脳神経外科(1)、慶應義塾大学医学部脳神経外科(2)  
秋山 武紀(1)、大平 貴之(2)、谷崎 義生(1)、赤路 和則(1)、平賀 健司(1)、  
小林 正人(2)、河瀬 斌(2)
- 5) Frameless radiosurgery : 430 病変の治療経験  
神経機構研究所神経外科、関東脳外科病院サイバーセンター  
井上 洋

---

特別講演 Special Lecture 14:00-14:50

座長 難波 宏樹

「精神科領域における機能的脳外科療法の新しい動き」

浜松医科大学 精神神経医学講座  
教授 森 則夫 先生

---

Short note 14:50-15:05

Session II : 15:05-16:05

座長 梶田 泰一

- 6) てんかん患者における MEG と SEEG の比較  
東京女子医科大学 脳神経外科、国立精神・神経センター 武蔵病院 脳神経外科(1)  
久保田 有一、落合 卓、堀 智勝、金子 裕(1)

- 7) IMZ-SPECT が有用であった難治性てんかんの一手術例  
聖隷浜松病院 てんかん科(1)、脳神経外科(2)、小児神経科(3)、神経内科(4)、リハビリテーション科(5)、群馬大学 病理学(6)、浜松医科大学 脳神経外科(7)  
山本 貴道(1, 2)、田中 篤太郎(2)、榎 日出夫(3)、大橋 寿彦(4)、柴本 勇(5)、平戸 純子(6)、大石 琢磨(6)、杉山 憲嗣(7)、難波 宏樹(7)
- 8) 複雑な組織構築を示した側頭葉腫瘍の1例  
群馬大学 医学部 脳神経外科  
宮城島 孝昭、高橋 章夫、石内 勝吾、平戸 政史、齋藤 延人
- 9) 一次運動知覚野直下の皮質異形成の一例  
国立精神・神経センター 武蔵病院 脳神経外科、小児神経科(1)  
仲間 秀幸、大槻 泰介、金子 裕、開道 貴信、須貝 研司(1)
- 10) 側頭葉内側てんかん(MTLE)に対するガンマナイフ(GK)の適応について-評価する立場から-  
東京女子医科大学 脳神経外科  
落合 卓、林 基弘、久保田 有一、後藤 真一、平 孝臣、堀 智勝

Coffee break (16:05- 16:15)

Session III : 16 : 15-17 : 15

座長 師田 信人

- 11) 遷延性意識障害患者に対する頸髄硬膜外電気刺激中の脳血流変化  
-光トポグラフィと SPECT を比較した1例-  
自治医科大学 脳神経外科  
小泉 唯子、加藤 正哉、渡辺 英寿
- 12) 腕神経叢引き抜き損傷による難治性疼痛に対して大脳皮質運動野刺激療法を行った1自験例  
国立精神・神経センター武蔵病院 脳神経外科  
金子 裕、仲間 秀幸、開道 貴信、大槻 泰介
- 13) 右 BA45 領域の磁気刺激による運動失語の改善  
慶應義塾大学 脳神経外科(1)、ハーバード大学医学部神経内科(2)  
小林 正人(1)、大平 貴之(1)、Alvaro Pascual-Leone(2)、Margaret Naeser(2)
- 14) 痙性対麻痺に対し脛骨神経縮小術を行い歩行が獲得された一症例  
筑波大学 脳神経外科、リハビリテーション部 (1)、龍ヶ崎済生会病院 脳神経外科 (2)  
鮎澤 聡、青木 司 (2)、中村 和弘、松村 明、江口 清 (1)、石川 公久 (1)
- 15) 術中陰部神経マッピング  
国立成育医療センター 脳神経外科  
井原 哲、師田 信人、杉山 一郎、加藤 貴弘

教育講演 Education Lecture 17 : 15-18 : 05

座長 杉山 憲嗣

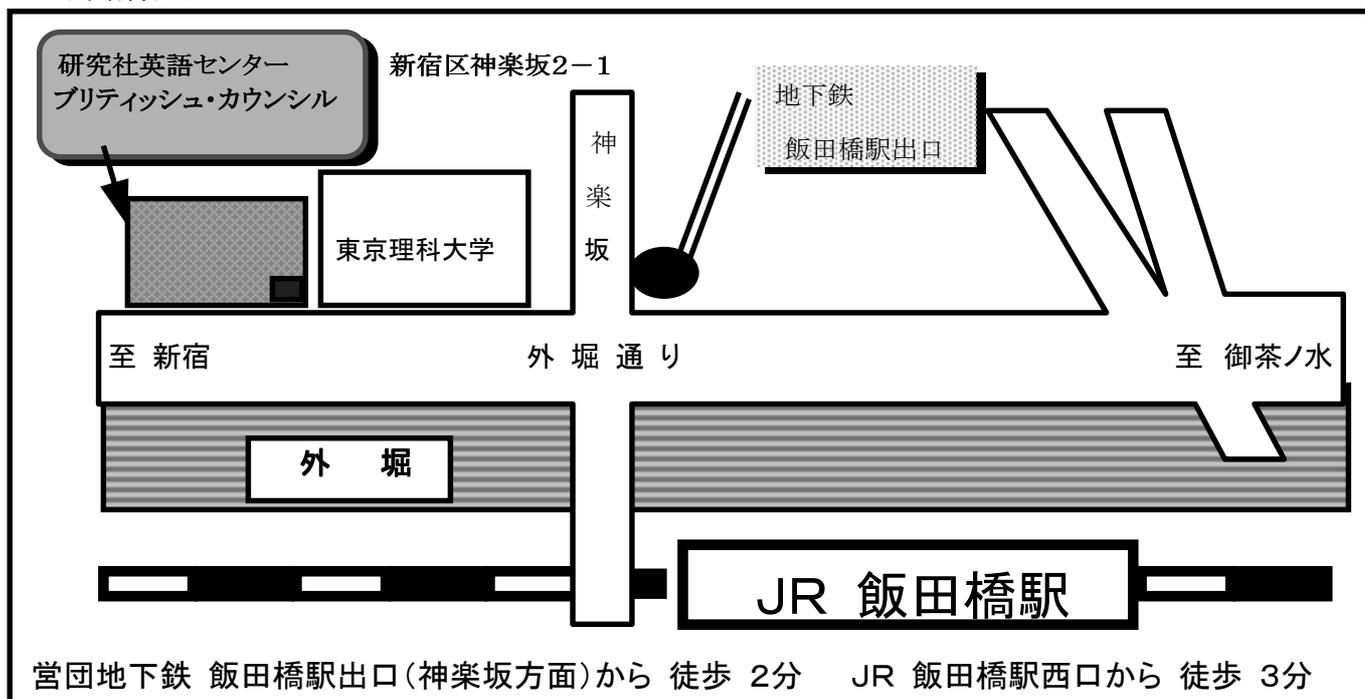
「 脳内報酬機構と側坐核 」

浜松医科大学 総合人間科学講座心理学教室

教授 中原 大一郎 先生

次回幹事 師田信人先生 挨拶  
(情報交換会:CANAL CAFE)

## 会場案内



## お願い

参加者へ：12:30 より受付を開始します。参加費 2000 円、情報交換会費 2000 円です。

脳神経外科専門医の先生はクレジット(3点)の自己申請をお願いします。

発表者へ：スライド(1面)、ビデオ(S-VHS、VHS)、コンピューター・ディスプレイ・プロジェクターが使用可能です。発表の30分前までに受付をお済ませください。

一般演題は発表時7分、質疑応答5分の計12分です。特別講演は50分です。

抄録提出：ご発表の先生は、抄録(700字程度)をプリントアウトしたものと、テキストファイルの入ったフロッピーを会の当日に受付に提出して下さい。ただし、インターネット登録時に送付済みの方で、修正不要の場合は結構です。

世話人会：12:15 よりブリティッシュ・カウンシル地下1階で行います。

## 関東機能的脳外科カンファレンス

名誉顧問

石島武一、大江千廣、高倉公朋、坪川孝志、(故)榎博太郎

顧問

片山容一、河瀬 斌、河村弘庸、高橋 宏、平山晃康、堀 智勝、真柳佳昭、渡辺英寿

世話人

伊関 洋、井上 洋、大槻泰介、大平貴之、梶田泰一、加藤正哉、亀山茂樹、北見公一、杉山憲嗣、鈴木一郎、平 孝臣、谷口 真、谷崎義生、長尾建樹、中里信和、平井達夫、平戸政史、深谷 親、福岡誠二、本望 修、松村 賢、三原忠紘、師田信人、山本隆充、横地房子、横山徹夫

事務局(第22回当番幹事)

浜松医科大学 脳神経外科 杉山 憲嗣

TEL 053(435)2283 FAX 053(435)2282 e-mail:kesugi@hama-med.ac.jp